

## 第6学年 図画工作科学習指導案

日 時 平成27年6月11日(木)

指導者 教育センター所員 江頭 尚子

### 1 題材 「発見！神奈川沖浪裏」 B鑑賞(1)イ (2時間扱い)

### 2 題材について

小学校学習指導要領解説図画工作編(平成20年8月)では、指導計画の作成と内容の取扱いにおいて、『B鑑賞』は、形や色、作品などのよさや美しさを能動的に感じ取っていく資質や能力を育てる学習活動であり、『A表現』とともに、児童の造形的な創造活動の基礎的な能力を育てる二つの領域として構成している。」と記されている。そして、言語活動の充実の観点からは、図画工作科においても、「話したり聞いたりする」「話し合ったりする」などの学習活動を位置付けることが求められている。

国立教育政策研究所が平成25年2月18日～3月8日に小学校6年生児童約3,000人を対象に実施した「学習指導要領実施状況調査(図画工作)」では、言語活動を通して作品のよさや美しさを感じ取る鑑賞の能力の育成において、作品から得た自分の印象や情景、全体的な感じなどを、形や色、奥行きなどの複数の造形的な特徴を根拠に説明することに課題があるとしている。また、[共通事項]においては、作品を鑑賞する問題において、形や色、動きや奥行きなどの複数の造形的な特徴をとらえ、それらを基に自分のイメージをもつことに課題があるとしている。この改善策として、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などの鑑賞の活動について、より効果的な言語活動を取り入れることや、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、自分のイメージをもつという[共通事項]の指導の充実を図ることが提案されている。本学級の児童を対象に行った調査でも、図画工作科の学習において絵を描いたり、何かを作ったりする学習は、ほとんどの児童が好きだと答えているのに対し、自他の作品や美術作品について、感じたり思ったりしたことを書いたり、話し合ったりする学習活動を苦手と感じている児童が多いことが分かった。また、友達の作品や美術作品を見るとき、色に着目している児童は多かったものの、色と形など複数の造形的な特徴に着目している児童は少ないことが分かった。

これらのことから、鑑賞の学習において、色や形、動きや奥行きなどの[共通事項]の視点に着目した指導をすることや、言語活動を充実させることは、児童の鑑賞の能力を高めるために必要であると考えられる。

本題材は、学習指導要領「B鑑賞 (1)イ」 「感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること」を踏まえて、自分の見方や感じ方を深めることをねらいとしている。「神奈川沖浪裏」に描かれている形や色などを基に、感じたことや思ったことを友達と話し合ったり、身近な山について自分の思い描いたイメージが表れるように形や色を考えたりすることで、見方や感じ方を深め、児童の鑑賞の能力を一層伸ばすことにつながると考える。

### 3 題材の目標

「神奈川沖浪裏」を自分の思いをもって味わい、形や色などの造形的な特徴を基に、感じたことを書いたり話し合ったりするを通して、自分の見方や感じ方を深める。

#### 4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	鑑賞の能力
1. 「神奈川沖浪裏」を、自分らしい見方や感じ方で味わおうとしている。 2. 自他の作品のよさや美しさを自分の思いをもって楽しもうとしている。	1. 身近な山について自分の思い描いたイメージが表れるような形や色を考えている。	1. 「神奈川沖浪裏」を見て、感じたことを言葉で表したり、友人と話し合ったりしながら、よさや美しさを感じ取っている。 2. 自他の作品の形や色、様子などから、よさや美しさを感じ取っている。

#### 5 題材の指導計画と評価計画(全2時間)

時間	学習内容	評価規準・評価方法
1 (本時)	「神奈川沖浪裏」に描かれている形や色、様子などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつ。	○(関1)「神奈川沖浪裏」を自分らしい見方や感じ方で味わおうとしている。 (観察・発言) ○(鑑1)「神奈川沖浪裏」を見て、感じたことを言葉で表したり、友人と話し合ったりしながら、よさや美しさを感じ取っている。 (観察・発言・ワークシート)
2	イメージから描いた身近な山の絵を基に、自分の見方や感じ方を深める。	○(関2)自他の作品のよさや美しさを自分の思いをもって楽しもうとしている。 (観察・発言) ○(想1)身近な山について自分の思い描いたイメージが表れるような形や色を考えている。 (発言・ワークシート) ○(鑑2)自他の作品の形や色、様子などから、よさや美しさを感じ取っている。 (観察・発言・ワークシート)

#### 6 本時の目標(第1時)

「神奈川沖浪裏」を自分らしい見方や感じ方で味わい、描かれている形や色、様子などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもって書いたり話し合ったりすることを通して、よさや美しさを感じ取る。

#### 7 本時の視点

導入では、アンケートから分かった、小学校から見える山にもつイメージを知らせ、そのイメージは、形や色などが基になっていることに気付かせる。その後、「神奈川沖浪裏」に描かれている富士山、人、海、船などを確認し、それらの色や形、様子などの造形的な特徴が、題材を通しての鑑賞のポイントになることを押さえたいと考える。色や形、様子などを根拠に、児童に自分なりのイメージをもたせるようにしたい。そして、友達の考えを聞いたり自分の考えを伝えたりする「交流の時間」を設定することで、自分なりの見方や感じ方を深めることにつなげたいと考える。

## 8 本時の展開

過程	学習活動	教師の働きかけ・評価 (◎：Aの判定基準 ○：Bの判定基準 ●：Cへの支援)	準備
つ か む	<p>1 「神奈川沖浪裏」と出会う。</p> <p>○アンケートから友達がもつ身近な山のイメージを知る。</p> <p>○「神奈川沖浪裏」を見て、感じたことを出し合う。</p>	<p>・アンケートを基に、身近な山についてのイメージを知らせ、人によってもつイメージが違うことや、そのイメージが形や色からくるものであることに気付かせる。</p> <p>・「神奈川沖浪裏」を見せ、描かれていることや感じたことなどを自由に出し合わせ、本時のめあてにつなげる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【造形への関心・意欲・態度】</b></p> <p>◎形や色などの造形的な特徴を自分なりの見方で味わおうとしている。</p> <p>○描かれていることから自分なりの見方で味わおうとしている。</p> <p style="text-align: right;">(観察・発言)</p> </div> <p>●友達の発言や板書に注目させ、描かれていることから自分なりの見方で味わうことができるように励ます。</p>	<p>電子黒板</p> <p>「神奈川沖浪裏」の掲示物</p> <p>鑑賞のポイントの掲示物</p>
考 え る	<p>2 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>形，色，ようすから自分のイメージをもとう</p> </div> <p>○「神奈川沖浪裏」に描かれているものを確認する。</p> <p>3 「神奈川沖浪裏」に描かれているものの形や色，様子を基に考える。</p> <p>○形や色，様子を基に，感じたことや思ったことをワークシートに記入する。</p>	<p>・「神奈川沖浪裏」に描かれている富士山，人，海，船などを確認し，これらの形や色，様子が鑑賞のポイントになることを知らせる。</p> <p>・「神奈川沖浪裏」に描かれているものを基に，自分なりに感じたことや思ったことをワークシートに記入させる。</p> <p>・文章の型を提示し，見つけたものの形や色，様子のうち，2つ以上のことを根拠に感じたことや思ったことを書く</p>	<p>ワークシート</p> <p>文章の型の例</p>

<p>交流する</p>	<p>4 ワークシートに書いたことを基に、友達と交流する。</p>	<p>ことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【鑑賞の能力】</b></p> <p>◎色や形、様子のうち3つ以上の根拠から、自分のイメージをもっている。</p> <p>○色や形、様子のうち2つの根拠から自分のイメージをもっている。</p> <p>(観察・発言・ワークシート)</p> </div> <p>●板書の「鑑賞のポイント」を基に、自分のイメージをもつことができるように励ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との交流は、友達がどんなことを感じたり、思ったりしたのかを知るためのものであることを伝える。</li> <li>・交流のときの約束を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【交流の約束】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自由に席を離れてよい。</li> <li>② 何人と交流してもよい。</li> <li>③ 友達の考えを聞いたら感想を伝える。</li> <li>④ 交流したら、ネームカードを「交流した」に動かす。</li> <li>⑤ ネームカードが全員「交流した」に動くようにする。</li> <li>⑥ 新しい発見は、赤色でワークシートに書き加える。</li> </ol> </div>	<p>交流の約束 電子黒板 ネームカード ワークシート</p>
<p>深める</p>	<p>5 友達との交流で気付いたことを発表する。</p> <p>6 本時の学習を振り返り、次時の学習について知る。</p> <p>○ワークシートに本時の感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との交流で気付いたことを発表させる。</li> <li>・友達の考えを聞くことで、同じ作品を見ても、それぞれがもつイメージが異なることに気付かせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに本時の感想を書かせ、学習の振り返りをさせる。</li> <li>・次時は、今日の学習を基に、身近な山を描くことを伝える。</li> </ul>	<p>ワークシート</p>